

DR. YIPING HUANG

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Member of the Monetary Policy Committee at the People's Bank of China
- Director of the Institute of Digital Finance (IDF)
- Professor of Economics and Deputy Dean of the National School of Development (NSD)



北京大学国家発展学院の金光金融経済学教授として高く評価されている黄一平博士は、マクロ経済学と金融政策の分野で著名な人物です。彼の深い知識と幅広い経験は、学術的議論を形成しただけでなく、金融政策にも大きな影響を与えてきました。北京大学デジタル金融研究センターの副学部長兼所長として、黄博士はデジタル金融のフロンティアを前進させる上で極めて重要な役割を果たしています。

黄博士は2015年から2018年まで、中国人民銀行の金融政策委員会委員として専門知識を提供し、金融政策の複雑な世界を切り抜ける能力を発揮しました。現在は、中国金融銀行学会の副事務局長、中国インターネット金融協会の金融技術開発研究委員会、中国金融40フォーラムの学術委員会の議長を務めています。黄博士の影響力は、中国経済50フォーラムのメンバーや「中国経済ジャーナル」の編集長として知識人界にも及んでいます。また、アジア経済政策レビューの副編集長としても貢献しており、この分野の思想的リーダーとしての地位をさらに固めています。

黄博士は、学术界と政策立案の分野で数々の名誉ある役職に就いてきました。国務院農村開発研究センター開発研究所の研究員補佐としてキャリアをスタートしました。その後、オーストラリア国立大学に進み、上級講師を務めました。国際的な経歴には、コロンビア大学ビジネススクールのゼネラル・ミルズで経済学と金融の国際客員教授を務めた経験も含まれます。企業部門では、シティグループのアジア太平洋担当マネージング・ディレクター兼チーフエコノミスト、バークレイズのアジア新興市場経済担当マネージング・ディレクター兼チーフエコノミストなど、重要な役職を歴任しました。国際通貨基金の監視業務に関する外部諮問グループのメンバーや、国務院参事官室金融研究センターの研究員としての関わりにより、彼のグローバルな視点はさらに豊かになっています。

黄博士の学歴は彼の経歴と同様に素晴らしいもので、オーストラリア国立大学で経済学の博士号、中国人民大学で経済学の修士号、浙江農業大学で農学（農業経済学）の学士号を取得しています。

Yiping Huang 博士の経歴は、単なる講演者ではなく、金融と経済の先見の明を持つ人物の姿を描き出しています。その洞察と貢献は、世界の金融と経済政策の展望を形作り続けています。教育者、政策アドバイザー、思想的リーダーとしての役割により、彼はマクロ経済学から金融テクノロジーと政策まで、さまざまなトピックに関する非常に人気のある講演者となっています。

Topics

- China
- Economics
- Finance